

令和6年第2回菊池市教育委員会会議録

日 時 令和6年2月19日（月）午後4時10分
場 所 七城公民館視聴覚室
出席者

教育長	音光寺 以 章
教育長職務代理者	生 田 博 隆
教育委員	森 智保美（欠）
教育委員	渡 邊 和 雄
教育委員	増 永 幸一郎
教育委員	城 聡 子
教育部長	村 田 義 喜（欠）
教育審議員	藤 田 英 明
学校教育課長	倉 原 桂 一
生涯学習課課長	川 口 克 明
社会体育課長	宮 本 健（欠）
学校給食管理室長	富 田 信 幸（欠）
菊池市公民館副館長	吉 川 良 二
菊池市立図書館館長	安 永 秀 樹
学校教育課指導主事	西 野 浩 史
学校教育課指導主事	清 永 邦 宏
学校教育課課長補佐	岩 根 貴 史

13 / 17人

日 程

1. 開 会
2. 議事録承認
3. 教育長の報告
4. 議案案件
 - 議案第2号 菊池市教育委員会交際費の支出及び公開に関する要綱の制定について（学校教育課）
 - 議案第3号 菊池市社会教育振興事業補助金交付要綱の一部を改正する要綱の制定について（生涯学習課）
5. 報告案件
 - 報告第4号 令和5年度「熊本県学力・学習状況調査」及び「菊池市学力・学習状況調査」結果と分析（学校教育課）
 - 報告第5号 菊池市生涯学習センターの在り方について答申の報告（生涯学習課）
6. その他
7. 閉会
8. 教育委員会各課からの事務連絡等
 - ①行事予定について
 - ②次回の教育委員会議

令和6年3月14日（木）16:00～ 七城公民館視聴覚室
③その他

開会

音光寺教育長 では、皆さん、御起立お願いします。

ただいまから令和6年第2回菊池市教育委員会会議を開会いたします。よろしくをお願いします。

本日は、森委員から私用のために欠席の届があつておりますのでお知らせいたします。

それでは、会議次第に従い、会議録の承認についてを議題とします。

教育委員会会議規則第14条第2項の規定により、令和6年第1回菊池市教育委員会の会議録に記載した事項について、異議はございませんでしょうか。

委員一同 異議なし

音光寺教育長 では、異議がありませんので、令和6年第1回菊池市教育委員会の会議録については承認することに決定します。

次に、教育長の報告を議題とします。

私より報告いたします。

まず、最初に動静です。1月26日金曜日に施政方針協議を行っております。

1月27日土曜日、みんなのスポーツ体験会というところで、幼稚園、保育園の皆さんから小学校5年生までを対象に、45～46名の子供たちと保護者に参加していただきました。スポーツは、野球や陸上、ボート、空手、バレーボール等の11の種目から紹介がありまして体験会が行われております。とてもよかったので、今後も続けていければと思っております。

1月31日水曜日、施政方針協議、菊池地域人権同和教育研修会が行われております。

2月5日、キクロスカレッジ運営委員会、施政方針協議。

2月6日、庁議、施政方針協議と学力向上推進本部に参加しております。

2月7日、菊池高校学校運営協議会。

2月8日、市内校長研修会ということで、教職員大学院の太田教授から校長先生方に講話をしていただきました。第4回教育支援委員会。

2月9日、市長記者会見。

2月13日、建設業魅力発信事業「小学生お仕事体験」ということで、泗水西小学校で行いました。先日の新聞でも紹介されておりましたけれど、色々な重機に子供たちが乗って、とても喜んでおりました。あと、建設業の方々に運動場の排水が詰まっていたところを全部ボランティアで直していただきました。とてもきれいになっております。

2月14日、奨学金選考委員会、教育長・校長ヒアリング。

2月15日、市内小中学校校長会議。

2月16日、市議会開会、スクールサポートチーム全体会。

2月17日、泗水東保育園に講演会に行っております。

2月18日日曜日、白龍旗剣道大会。男子48、女子48、計96チームが九

州各県から参加していて、大変すばらしい大会が行われておりました。それから、森の学校きくち事前研修会では、参加する生徒たちでペタンクをやりながら交流を深めたところでございます。

2月19日、本日が万句のふるさと表彰式と教育委員会議です。

次に、市内小中学校長会議での連絡事項です。

はじめにというところで、文部科学省が主催します全国いじめ問題子どもサミットが1月27日に行われました。県代表として菊池南中学校の生徒会が参加しております。とてもいい発表だったし、交流で他県の子供たちとの意見交換がとてもよかったと聞いております。

令和5年度くまもとの笑顔・未来を創る児童生徒表彰で、菊池南中学校の地域活動委員会が地域貢献ということで表彰されております。

あと、教育会が主催します里仁賞に泗水東小学校の北住吉区子ども会のボランティア活動と旭志中学校3年生の地域貢献活動が選ばれております。

先日行われました男子バレーボールの県の新人戦で、泗水中学校の男子バレーボール部が3位ということで、今度九州大会に出場します。

能登半島地震への熊本県からの教職員派遣というところで、泗水小学校の松永武主幹教諭と泗水東小学校の木下倫太郎教諭が派遣されておりました。先日、二人お見えになって、その報告を聞いたところでございます。

それから、1年間のまとめと次年度の計画立案ということで、先ほどお話ししました太田シニア教授の講話を具現化することをお願いしております。

人事評価の期末面談では、認め、励まし、伸ばす指導を行っていただきたいとお願いしております。

次に、連絡事項につきましては、人事異動が最終段階であるということと特別支援学級の新設・増設はなかなか厳しかったという話をしております。

安心・安全な学校づくりのためということで、インフルエンザによる学級閉鎖が非常に増えておまして、先週は5クラス閉鎖したところです。特に2月になってさらに増えてきている状況です。くれぐれも感染対策をしていただくということをお願いしております。

学力向上につきましては、熊本県学力・学習状況調査と菊池市学力・学習状況調査の結果を話しております。特に、小学校では取組の成果が出ていること。中学校も生徒の意識が向上していますので、点数に結びづけるようお願いしたいと。ただ、学年、教科間の差が大きいところがあります。経年変化と誤答を分析して、早期の課題解決を図ること、もう一つは学習習慣を確立することをお願いしております。

基礎基本の定着につきまして、プロジェクトチームを今年立ち上げましたけれど、その成果が良く出ているなど思っております。定着率40%未満の児童が減少していると。できなかった問題は再度解かせて、できるようになるまで繰り返し指導していただきたいというふうに言っております。詳しいことは後ほど指導主事のほうから報告があります。

いじめ不登校については、心のアンケートからいじめの認知と組織的な対応を

お願いするようにしております。

人権教育につきましては、各学校で総括をするということ。

教職員につきましては、飲酒の機会が増えますので、再度指導を行うようお願いしております。

働き方改革については、泗水小学校の校内研修で妹尾先生が講話されておりますので、その話をしました。特に教科担任制がとても有効だという泗水小学校からの報告があつておりました。

その他で、キャリア教育の推進ということで、熊本高専の「半導体を学ぶ」という出前事業が旭志中学校で行われております。それから、泗水東小学校でシイタケの「コマ打ち体験」。また、先ほどお話しました泗水西小学校で「小学生のお仕事体験」という非常に有効な指導をされていますので、さらにE S Dの視点で取組をお願いしたいと話をしております。

今後の予定としましては、2月21日に夜間中学推進協議会。

2月22日、市議会の予算決算常任委員会。

2月23日金曜日から25日の3連休でプラチナ森の学校きくちを実施いたします。

2月26日月曜日から29日までが一般質問。

3月1日、県立高校の卒業式に参加いたします。

3月3日、老人クラブ芸能大会。

3月4日、市議会、常任委員会、予算決算分科会が7日までございます。

3月8日、市内の中学校の卒業証書授与式。

3月10日日曜日、七城小学校の150周年記念事業が行われます。また鞠智城跡特別研究成果発表会も予定されております。

3月12日火曜日、中学校部活動地域移行推進協議会、人権教育主任研修会。

3月13日水曜日、菊池市内の小中学校長会議。

3月14日、菊池市議会、予算決算常任委員会がございまして。それから菊池市教育委員会と教育論文の表彰式となっております。

では、ただいまの教育長報告について、何か質疑等ございませんでしょうか。

委員一同 なし

音光寺教育長 では、ないようですので、これで教育長の報告については終わります。

それでは、議事に入ります。

議案第2号を議題として、事務局から説明をお願いいたします。

倉原課長。

倉原学校教育課長 学校教育課からです。よろしくお願いいたします。

議案書の1ページをお願いいたします。

議案第2号、菊池市教育委員会交際費の支出及び公開に関する要綱の制定について。

令和6年2月19日に提出でございます。

提案理由としましては、菊池市教育委員会の教育行政の円滑な執行を図るため、交際費の支出及び公開に関し必要な事項を定める必要がある。

これが要綱案を提出する理由でございます。

次のページをお願いいたします。

まず、要綱の第1条になります。この要綱は、教育行政の円滑な執行を図るため、教育長が教育委員会を代表して行う外部との交際に要する経費（以下「交際費」という。）の支出及び公開に関し必要な事項を定めるものでございます。

第2条。支出先でございます。交際費の支出先となる個人または団体は、次に掲げる者とする。3項入れております。

飛ばしまして、3条、支出の区分です。この交際費を次の区分により支出するものとする。祝賀会、研修会、懇親会ほか記載のとおりでございます。

第4条、支出額。交際費として支出する額は、別表に定める額とする。ただし、特に必要と認めるときは、教育長と協議の上、定めるものとする。

この別表が3ページに載せております。項目と金額の基準を申し上げます。慶弔費、生花等が1万5,000円以内。その他の部分になりますと1万円以内でございます。見舞金5,000円以内。会費、これは会議、研修会、懇親会等の出席に要する費用で定められた額としております。意見交換等の懇談の費用としましては1万円以内としております。

次ページを御覧ください。

雑費としまして、教育行政運営上必要と認められる土産品に5,000円以内。あと、教育行政運営上必要と認められる記念品等が1万円以内というふうに定めております。

第6条です。公開の方法でございます。交際費の公開は、別記様式によりその内容を市のホームページに掲載するとともに、学校教育課総務係において閲覧に供するとしております。

第7条、公開の時期。交際費の公開は、当月分の支出に係る分を翌月末日までに公開するものとするとしております。

附則で、この要綱は、令和6年4月1日から施行するとしております。

以上で説明を終わります。

音光寺教育長 では、ただいまの説明について質疑及び御意見はございませんでしょうか。よろしいですか。よろしいでしょうか。

委員一同 なし

音光寺教育長 では、質疑もないようですので採決をいたします。

議案第2号は原案のとおり可決することに御異議はございませんか。

委員一同 異議なし

音光寺教育長 異議なしと認め、議案第2号は原案のとおり可決することに決定いたします。
では、次に議案第3号を議題とし、事務局から説明をお願いいたします。
川口課長。

川口生涯学習課長 生涯学習課でございます。遅れて参りまして申し訳ございませんでした。
それでは、議案第3号の説明をさせていただきます。議案書の6ページでございます。

菊池市社会教育振興事業補助金交付要綱の一部を改正する要綱を制定させていただきますものがございます。

これは、今回この交付対象団体といたしまして、少年少女発明クラブを追加するために要綱を改正するものがございます。

この少年少女発明クラブと申しますのは、令和6年度より立ち上げる予定でございます。菊池市の次代を担う子供たちに科学技術に関する興味、関心を追求する場を提供し、独創的な発想に基づく創作活動を通して、発明や工夫の楽しさ、それから創作する喜びを体得させたいというもので立ち上げるものがございます。

令和6年度の参加対象といたしましては、小学校が4年生から6年生まで、定員は20名ということで今予定をしておるところでございます。

講座の内容といたしましては、身近な道具を使った科学の実験、それからプログラミングの基礎、ロボットのプログラミング、それから工具類を使った木工細工などを計画しておるところでございます。

講師といたしましては、熊本高等専門学校の准教授の方、それから熊本市少年少女発明クラブの講師の方々などを予定しております。

今回、この補助要綱に追加いたしますのは、運営に係る経費といたしまして、まず参加者個人から参加費として1人1万円を徴収する予定でございます。それと、これは全国組織でございますが、公益社団法人発明協会というところがございまして、そちらから補助金をいただくところがございます。しかしながら、それだけでは運営に不足しますものですから、今回、市からの補助金も支出するというところで要綱を改正していただくものがございます。

議案書の7ページでございます。

社会教育振興事業補助金交付要綱の別表3の表中に、少年少女発明クラブを入れまして、市補助金の予算内で運営すると。そして、補助対象経費はそこに記載のとおりでございます。

附則といたしまして、この要綱は令和6年4月1日から施行するということで進めさせていただきたいと思っております。

以上、説明を終わります。

音光寺教育長 では、今の件につきまして、何か御質問、御意見等ございませんでしょうか。
増永委員。

増永委員 県の教育委員会が主催しています科学展との関係はどういう状況ですか。もし分かっていたらお願いします。

音光寺教育長 川口課長。

川口生涯学習課長 お尋ねの件でございますけれども、先ほど御説明いたしました公益社団法人の発明協会と、現在、連絡・調整をさせていただきまして、子供たちの出展などはそちらで計画をさせていただきたいと考えております。ですので、県の教育委員会の科学展との関係というのは今のところ把握はしておらないところでございます。

音光寺教育長 今の件につきましては、県が科学展、発明くふう展をやっていますので、この発明クラブでできたものを子供たちが出品するのは奨励するという事で考えております。この取り組みは県下で3番目です。最初に荒尾市で立ち上げられて、その後は熊本市、そして菊池市が三つ目ということになります。発明クラブから出した作品が県で入賞するというのは多々あっているということです。

以上です。

ほかにありませんでしょうか。

委員一同 なし

音光寺教育長 では、質疑もないようですので採決いたします。

議案第3号は原案のとおり可決することに御異議はございませんでしょうか。

委員一同 異議なし

音光寺教育長 異議なしと認め、議案第3号は原案のとおり可決することに決定します。

では、次に報告案件に入ります。

報告第4号、令和5年度「熊本県学力・学習状況調査」及び「菊池市学力・学習状況調査」結果と分析の説明を事務局よりお願いいたします。

清永指導主事。

清永学校教育課指導主事 それでは、令和5年12月に実施しました熊本県学力・学習状況調査と菊池市学力・学習状況調査の結果について御報告します。

報告資料には詳細な結果を掲載しておりますが、内容がとて多くなっておりますので、ここでは結果概要版にて御説明します。

まず、1、(1)を御覧ください。小学校3年生以上の国語と算数の結果でございます。全国、熊本県等の平均正答率と本市の平均正答率を示しております。今回の調査では、オレンジ色の印がついている教科で全国の平均値を上回りました。

た。また、紫色で示している小学校6年生では県平均等を上回っております。小学校4年の国語は全国平均と同じ結果でした。

1、(2)を御覧ください。中学1、2年の結果でございます。中学校では全国、熊本県等の平均正答率には届いておりませんでした。

続きまして、2、(1)を御覧ください。ここでは同じ児童生徒の集団について、1年前の調査である令和4年12月の県学力調査と今年度4月の市の学力調査、そして今回の調査の結果がどのように推移したかを示しております。各調査の全国平均を50としたときの菊池市の結果を示す標準スコアによる比較で、数値に伸びがあれば同一集団の学力の伸びが見られたことになります。令和4年県学調である令和4年12月時点からは8項目中5項目で、令和5年度市学調である令和5年4月からは8項目中7項目で伸びが見られました。

2、(2)を御覧ください。中学校の同一集団経年変化です。中学1年は経年変化でマイナス傾向があります。中1ギャップの解消に向けては、今後も取り組んでまいります。中学2年では、昨年度から国語が伸び、今年度令和5年4月からは3教科で伸びが見られました。

3、(1)を御覧ください。小学校の社会と理科の平均正答率です。市の学力調査の結果で熊本県の平均はございません。5年の理科と6年の社会、理科で全国平均を超えました。

3、(2)を御覧ください。中学校の結果です。中学校では全国平均に届いた教科はございませんでした。

4、(1)を御覧ください。小学校社会と理科における同一集団の経年変化です。各学年に成果と課題が見られますが、5年理科と6年社会は昨年度より伸びが見られました。

続いて、4、(2)を御覧ください。中学校の結果です。社会、理科では中学1年がマイナス傾向となっております。その中でも、中学2年は理科で4月の調査より伸びが見られました。

5、(1)を御覧ください。ここからは児童生徒質問紙(i-check)の結果に基づいて御説明します。県教育委員会義務教育課から学力向上の指標として示されている三つの指標について、その結果を御説明します。

参考指標1、「授業では、課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいましたか」では、小学校6年と中学2年で経年変化における上昇が見られました。両学年は正答率40%未満の児童生徒が教科により減少していたり、標準スコアの伸びが見られたりしており、自分で考え、自分から取り組む意識が学力の向上と関連していると思われます。

5、(2)を御覧ください。参考指標2、「家で自分で計画を立てて勉強していますか」では、小学6年の結果が上昇していました。一方、中学1年の結果は落ち込んでおり、小学6年と中学1年で家庭学習についての情報共有が必要だと考えております。

5、(3)を御覧ください。参考指標3、「授業の内容はよく分かりますか」についてです。まず、国語ですが、小学4年と小学6年で肯定的回答が増加してい

ます。

5、(4)を御覧ください。算数、数学についてです。小学6年で肯定的回答が増加しています。中学1年については、小学校と中学校の連携を図り、中1ギャップの解消に努めてまいります。

5、(5)英語についての結果です。中学1年につきましては、今年度、小学校と中学校の授業を見合い、学校区ごとに連携する研修会を2回実施し、小学校英語と中学校英語の学びがつながるよう取り組んでいるところです。なお、お手元の説明資料には記しておりませんが、中学2年生では「英語の勉強が好き」「英語の授業の内容がよく分かる」の割合が県平均を超えております。

5、(6)を御覧ください。家庭学習に関して、予習と復習に関する調査結果です。小学6年は肯定的回答が全国と熊本県の平均を超えておりました。家庭学習の充実についても、引き続き取り組んでまいります。

6、(1)を御覧ください。平日のメディアとの付き合い方に関する調査結果です。全ての学年で「2時間以上」の割合が県平均を上回っていました。小学4年と5年では「3時間より多い」「4時間以上」の割合が高くなっております。このように小学校の段階からメディアとの付き合い方について、自分自身でコントロールする力が求められております。

6、(2)は中学校の結果です。

6、(3)「学校の授業以外で週に何日くらい勉強していますか」の結果です。

6、(4)は中学校の結果です。特に、中学2年では「ほとんどしない」の割合が県平均よりも高くなっておりますので、家庭学習の充実について、引き続き取り組んでまいります。

今後の取組ですが、学力については各学校で調査結果を受けた取組を進めるとともに、今年度実施している基礎学力向上取組シートを活用し、正答率40%未満の児童生徒への確実な手だてを進めてまいります。生活習慣については、幼・保等、小・中連携協議会が実施するノーメディアの取組を推進する中で、メディアとの適切な付き合い方について、引き続き啓発してまいります。

以上、報告を終わります。

音光寺教育長 では、今の報告については何か質問等ございませんでしょうか。

小学校の場合で、熊本県は全国を上回っております。ですので、本市も、県には届かなかったんですけど、全国よりも超えていると。特に小学校6年生については、全国よりも県よりも、本市の小学校の6年生は国語、算数ともに上回っているというすばらしい成績を残してくれております。

大分改善されたですね。

御質問等よろしいでしょうか。

委員一同 なし

音光寺教育長 では、次、報告第5号、菊池市生涯学習センターの在り方についての答申の報

告をお願いします。

安永菊池市図書館館長 中央図書館からです。菊池市生涯学習センターの在り方の検討について、御報告をさせていただきます。

資料の54ページを御覧ください。

審議の経過についてですけれども、令和3年度の12月から、社会教育委員さんへ御説明をさせていただきながら、全部で5回の会議を開催いたしまして、令和5年の3月27日に答申をいただいたものでございます。

56ページを御覧ください。

56ページに生涯学習センターの在り方検討についての諮問について、諮問書載せております。その中での内容としましては、一番下、下段の3番の内容につきましては、公民館・図書館の利用状況と5か年における成果について。それから、市民ニーズの把握と課題解決に向けた地域活動の拠点としての取り組むべき事項について。それから、施設の利用促進と有効活用に向けた手だてについて。最後に今後の運営体制の在り方についてということで、諮問のほうさせていただいています。

これにつきましては、菊池市の行政改革の一環としての取組の中で入れられているものでございました。社会教育委員さんに諮問をいたしたということでございます。

答申の内容につきましては、50ページを御覧ください。

5番の菊池市生涯学習センターのサービスの向上に係る検証と課題ということで、委員さんから提言をいただいているところでもございます。

その中で、特に51ページの4番ですね、(4) 今後の運営体制の在り方についてということでございます。これにつきましては、生涯学習センターを建設時に直営にするか指定管理にするかというような、そういった検討もさせていただいた中で、まずは5年間程度直営で行いながら、その中身について精査をしていく中でお話をさせていただいて、直営で運営をしてまいりましたので、そこも含めて検証したということになります。

そして、51ページの下のほうですね、新たな生涯学習センターに向けての提案ということで、委員さんから四つの提案をいただいております。

関係機関を含めた生涯学習情報を収集・整理し、多様な発信ができるような情報のハブ機能を担う体制をつくってくださいということ。それから、学習機会を増やすためにICTの活用やデジタル化による展開、休日の講座開催など、ライフスタイルに応じた多様で高度な学習機会の提供をしてください。それから、市民のウェルビーイング、幸福感の実現を意識した取組、社会課題の解消につながる学びの機会の提供をお願いしますということ。それから、最後に、市民が学んだ知識を生かし、学びと活動の循環を創出する場の提供を行ってくださいと。このような提言をいただいているところでございます。

これまでの運営の中での5年間の取組を御説明させていただいた中でも、これまでも直営でやってきたことによって、生涯学習センターが、拠点としての取組が

すごくよくできているということで、できるだけ直営で市が責任を持ってやってほしいというお話をいただいているところでございます。それによりまして、今後直営で生涯学習センターを運営していくということにしているところでございます。

ただし、色々な法律や財政の状況によっては変わることもあるので、引き続き検討はしていただくという答申をいただいているものでございます。

これに基づきまして、いただいた提言も含めて、今後の生涯学習センターのサービスの向上、それから運営の向上について、取り組んでいきたいと考えているところでございます。

それから、高校生や一般の方々にもアンケートお願いをしまして、その結果も後ろのページについております。おおむね満足度の高いようなアンケートの回答をいただいているところでございます。

音光寺教育長 安永館長から報告がありましたように、5年間の経過を見て、とても良く機能しているということで、このまま直営でやった方がいいという提言を受けているということです。

何か御質問や御意見等ございませんでしょうか。

委員一同 なし

音光寺教育長 よろしいでしょうか。今後も市民の満足度が上がるように、生涯学習センターの運営をどうぞよろしくお願いいたします。

では、その他に入ります。

事務局のほうから何かありますか。

岩根課長補佐。

岩根学校教育課課長補佐 その他ということで、1点御確認いただきたいことがありますので、私から説明したいと思います。ペーパーはございません。

今年度、部活動の地域移行ということで、まず庁内関係課で検討させていただいておりました。

これまで、学校の部活動の実態調査や校長先生のヒアリングを行い、現在は、部活動の顧問に聞き取りをさせていただいております。ただし全ての部活動ではなく、団体で中体連などの大会に出場できない部活動で、すでに複数校合同で対応している部活動は対象外としております。剣道部、柔道部、吹奏楽、合唱、サッカー部を対象としております。

その中で、部活動の拠点化についてご意見を伺っています。この拠点化については、近隣市では、玉名市がされています。

その手法について、県の教育委員会や中体連にも確認をしましたが、これは、それぞれの教育委員会でプロセスを決めて取り扱えばよいとのことで、国や県に報告する必要はないとのことでした。そこで、本市の場合は教育長の専決処分とい

うことでさせていただけたらと考えております。

取り急ぎ、いくつかの部活動で、今度の中体連を目指してやりたいというお気持ちも伺っております。できるだけスピーディーに進めていくためにも、教育長の専決とさせて頂きたいと思います。

また、教育委員会の事務委任規則においても、部活動のことは該当する要件がありませんので、必ずしも教育委員会議に諮る必要がないというところで専決処分とさせていただきたく、今回皆様に確認をさせていただきました。

詳細、方向性が決まりましたら、また来月の会議などでも報告ができたらと思っておりますので、まずは確認ということでよろしく願いいたします。

音光寺教育長 何か御質問ありませんでしょうか。

今のところ、野球が合同部活動でやっています。それからバレーですね、男子バレーが北中と南中。それから水泳が合同でやっています。剣道と柔道は個人戦があるから合同はできないとなっています。ただし、拠点化すれば、そこに集まってくる子たちは一緒に団体戦ができるというお話です。

その種目の先生としては、せっかく小学校で習っている子たちが、中学校にならば、部活動ができないということになるので拠点化していただくと、拠点校に来ていただいて、一緒に試合に出られるというようなことで検討しています。

拠点化する場合は、教育委員会が認めればよいということですので、教育長の専決でさせていただけないかというところです。よろしいでしょうか。

委員一同 異議なし

音光寺教育長 では、ほかにありませんでしょうか。

岩根学校教育課課長補佐 まず、直近で大会に出られない子たちへの手当てを先にさせていただいているところになります。休日の地域移行については来年度、協議会等が社会体育課において計画されていますので、またそちらで検討していくことになると思います。補足です。

音光寺教育長 では、その他、ほかにありませんでしょうか。

委員一同 なし

音光寺教育長 では、ないようでしたら、これで本日の委員会は閉会いたします。

皆さん御起立をお願いします。

お疲れさまでした。

— 了 —